

学修成果の自己評価(入学前と入学後の評価)

(学籍番号 _____ 名前 _____)

教育目標		自己評価
ディプロマポリシー	教育目標の具体例	
技能・表現	1. 専門知識や科学的思考力に基づき、自らの考えを論理的に説明しディベートができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章表現力、読解力の能力 論説的な文章の読み方や理解する力、論理的な報告書の作成能力、成果や自分の考えを適切に文章化する力 ・討論・報告・口頭発表の能力 論理的に結果や成果を表現する能力、図表により工夫して表現する力、成果や自分の考えが相手に的確に理解できる口答表現の力 ・チームワーク力 社会人に必要な協調性、他者の意見も取り込み自分の考えも含めて建設的に討論できる力、自分の役割を踏まえてディベートできる力
	2. 英語によるコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語力 基本的な英会話力、英文の専門書や学術文献の論読と内容を理解する力、英語で10分程度の研究発表ができる力
思考・判断	3. 実践的教養と論理的思考力により、自ら課題を発見し道筋を立てて解決できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定力、計画力 課題の解決に対して自ら目標設定できる力、課題を解決するための実施計画を作る力 ・目的達成と問題発見力 与えられた課題に対して論理的に解釈し解決すべき問題点を見出す力、問題点を発案し重要度ごとに整理できる力 ・課題解決力 得られた結果や成果から問題を発掘し解決する方法を立案できる力、課題や問題点を検証しながら解決する力
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力 共通基盤教育における自然科学系や数理情報系に関する基礎知識、基礎知識を基礎専門分野に関連付けて考えていける力 ・応用力 専門分野の基礎知識や技術を身に付けている、専門分野を深く追求し他の専門分野にも活用できる力、専門分野の知識や技術を研究活動に生かせる力
		<ul style="list-style-type: none"> ・技術者としての社会的責任、倫理観、技術者としての役割 科学技術・社会・自然環境に関する倫理観を持ち、それらを実社会に適応する力。技術者としての社会的役割の理解。 ・自然や社会現象、身の回りのものを科学者の目で見るとの習慣、社会的ニーズの洞察と探求 自然や社会の諸現象や身の回りの科学的現象を観察し論理的に事象を考察する力。専門分野に強い関心を持ち計画的に探求していく姿勢
知識・理解	4. 専門知識・専門技術を活用し、先端的研究活動や開発設計に生かすことができる。	
関心・意欲・態度	5. 常に専門分野に対する高い関心を持ち、社会のニーズに応える探求ができる。	

評価点

入学前を0として ほとんど変わらない やや向上した 向上した かなり向上した 大きく向上した

1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5